

2016 winter <http://entrepreneur.jp/>

起業、転職、会社に残留で迷う時、今の自分に足りないことがわかる本

独立願望はあっても、なかなか決断できないもの。そこでお勧めしたいのが、「ヘッドハンティングの超プロが見えてきた、3年後、転職する人、起業する人、会社に残る人」。転職・起業・会社に残留といった3つのキャリアの選択肢があることを前提に、それに必要なスキルや人間関係、戦略的な人生の考え方について学べる本だ。3000人以上の転職希望者と面談してきたヘッドハンターであり、自ら起業した著者・佐藤文男氏は話す。「起業という選択肢が一般的になってきている今だからこそ、一步を踏み出す前に、『自分が起業に向いているか

どうか』『起業に向けての基本的な準備が整っているか』を検証することが大事です。起業を決断する前の『自己点検』に役立てほしいと思います。

人材のプロとしての知見や、著者の実体験をもとにしたノウハウから、自分に足りないものを確認しよう。



2015年8月、株式会社クロスメディア・パブリッシングより刊行。自分のスキルや、人間関係の築き方、人生の考え方などを振り返りながら読むことで、起業前に足りないものを把握し、周到に準備しよう。

リサーチや腕だめしに活用したい短期利用できるチャレンジショップ

商店街の空き店舗などを貸し出す形で、一定期間出店できる「チャレンジショップ」。近年、1週間や1日単位で短期利用できるものも増えている。

一般財団法人武蔵野市開発公社による「チャレンジマルシェ」では、東京・吉祥寺駅前にある2坪程度のスペースを、週末のみや一週間単位で貸し出し

ている（1週間で2万円、週末のみは1万5000円）。観光客も多いエリアのため、市場調査や商品への反響を知るために役立つだろう。

一方、一般社団法人まちづくり八王子は、八王子駅付近の商店街の1坪スペースを1日単位で貸し出す「はちチャレ」を展開。平日1日1000円、土

日は2000円の利用料でトライしやすい。どちらも市内外から広く利用者を募集し、業種・業態も問わない。自分の商品のニーズを知るリサーチや腕試しに役立ててほしい。

(右)「チャレンジマルシェ」を活用し、焼き菓子を販売
(左)「はちチャレ」スペースで雑貨販売を行う出店者



※はちチャレ(<http://8cha.jp>) チャレンジマルシェ(<http://www.m-kaihatsukosha.or.jp>)

女性の起業を支援するビジネスプランコンペティション

株日本政策投資銀行による「女性新ビジネスプランコンペティション」は、女性の起業を支援するためのビジネスプランコンテストだ。今回で5回目となるが、これまで受賞者には最大1000万円の事業奨励金の支給とともに、事業の実現を手助けするため、ノウハウや人的ネットワークの提供など、様々なサポートを行ってきた。過去の大賞受賞者には、高級日本茶のボトリング事業で起業し、同行の支援を受けてブランディングを進め、エアラインのファーストクラスで提供するまでに躍進した人も。

「これまで新規性、革新性に重点を置いた審査をしてきましたが、今回は事業の収益性を第一の審査ポイントとし、新たに事業奨励賞ももうけました。受賞後の1年間、事業支援のサポートを密に受けられるので、ぜひチャレンジしてください。自分のプランに自信がない方も、応募することで実現可能なうちにブラッシュアップできる良い機会になると思います」（同行担当者）

応募締め切りは2016年2月26日。くわしくはホームページで確認を。



第4回表彰式風景。過去の応募総数累計は1533件にのぼるという。詳細は以下のホームページで確認できる
(<http://www.dbj.jp/service/advisory/wec/>)

移住・起業の候補地検討に役立つ「JOIN移住・交流&地域おこしフェア

地方創生が叫ばれる今、移住・起業の支援体制が進んでいる。しかし、いくつもの地域から移住候補地を選定することは難しいものだろう。

そこで活用したいのが、全国約400の市町村などが東京ビッグサイトに集結する「JOIN移住・交流&地域おこしフェア」。各ブースでは、地域の暮らしの情報から移住・起業における支援体制などを自治体担当者から直接聞くことができる。また、先輩移住者などによるセミナーも開催。暮らしや仕事、地域の魅力などの体験談からリアルに地方暮らしをイメージできる。

さらに、国の移住施策「地域おこし協力隊」の相談ブースも設置。この制

起業家と大手企業をつなぐ「01 Book」オープン・イノベーションで事業創造

近年、欧米諸国では、スタートアップ企業やベンチャーを支援する「コーポレートアクセラレーター」というプログラムが盛んになっている。メンターリー人材から一定期間のサポートを受け、大手企業から投資も受けながら、事業の実現・展開を加速できる仕組みだ。

（株）ゼロワンブースターは、これをオープン・イノベーションという形で実現。大手企業と一緒に起業家人材の育成・支援を行っている。プログラムごとに参加者を募集し、個々のビジネスプランを審査してメンバーを選抜。センターから4ヶ月間のサポートを受けながら、大手企業のリソースを使って